

2019年度 第1回 CPC研究会

日時 : 5月17日(金) 13:30~16:30

会場 : 化学会館 501 会議室 <http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>
(〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 TEL: 03-3292-6161)

参加費 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=20,000 円
<http://cpc-society.org/>

13:30~14:55

「SDGs が目指す社会における炭素繊維の使い方」

産業技術総合研究所 加茂 徹 氏

- 1) SDGs が目指す社会
- 2) 炭素繊維の現状
- 3) 炭素繊維のリサイクル技術
- 4) SDGs が目指す社会における炭素繊維の使い方

2015 年に国連が採択した SDGsは、全ての人々を持続可能な世界へ導くためのプログラムです。SDGsが目指す社会では、工業製品は価格と品質に加えて環境と倫理の 4 つの指標で評価されます。炭素繊維は優れた材料ですが生産時に多大なエネルギーを消費するため、持続可能な社会に適合させるにはリサイクル技術の開発が重要な課題となっています。本講演では、持続可能な社会における炭素材料の使用方法を検討します。

15:05~16:30

「ピッチ系炭素繊維の開発経緯とその歴史」

日鉄ケミカル&マテリアル株式会社 荒井 豊 氏

- 1) はじめに
- 2) 大谷杉郎教授と五味新平氏
- 3) 等方性ピッチ系炭素繊維の工業化
- 4) メソフェーズピッチ系炭素繊維の開発
- 5) ピッチ系炭素繊維の特徴と用途展開
- 6) 炭素を極めたピッチ系炭素繊維の将来と夢

群馬大学大谷教授により発明されたピッチ系炭素繊維は半世紀を越える歴史があります。その開発や発展には多くの紆余曲折がありました。しかしながらその経緯は意外と知られていないこともあり、開発の経緯や発展の現状を紹介するとともに、昨今話題のナノ炭素材料を含めた各種炭素材料と比較しても優れた性能、性質を誇るピッチ系炭素繊維の未来に関して紹介いたします。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8963

5月17日の第1回研究会に出席します (化学会館 501 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail:

交通案内

公益社団法人 日本化学会 化学会館

所在地 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

電話 03-3292-6161 FAX 03-3292-6318

<http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>

- ・JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩 3 分
- ・地下鉄丸の内線 「御茶ノ水」駅 出口 2 徒歩 4 分
- ・地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」駅 出口 B1 徒歩 5 分

